

第37回

高遠

分子細胞生物学

シンポジウム in 東京晴海

高遠桜雲賞選考

ポスター発表を
募集いたします

(フラッシュトークあり
最大20名予定)

世話人

児玉 龍彦

熊ノ郷 淳

門脇 孝

高橋 淑子

後藤 由季子

水島 昇

倉永 英里奈

吉田 松生

岡田 随象

お申込みはこちら

参加費

無料

会場&WEB
開催



「制御系としての生命」

開催
期間

2026年8月24日(月) 13時~21時

2026年8月25日(火) 9時~12時

会場

L stay & grow Harumi

〒104-0053 東京都中央区晴海3-8-1

WEB配信：Microsoft Teams

演者 / 演題

Day1

1. 真核細胞誕生時におけるリボソームタンパク質の役割

太田 訓正 先生

九州大学 基幹教育院 教授

2. 脳皮質の発達を実現した動くニューロンの戦略

見學 美根子 先生

京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 教授

3. 制御性T細胞：その発見から新しい免疫医療に向けて

坂口 志文 先生

大阪大学 特別栄誉教授 / 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授

Day2

1. 根の自在な成長を支える分子と細胞のダイナミクス

中島 敬二 先生

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授

2. ATG因子群が駆動するオートファゴソーム形成の分子機構

野田 展生 先生

北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授

3. 液性因子による動物の発生と生理の制御：ショウジョウバエと寄生蜂の研究から

丹羽 隆介 先生

筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 教授

※本シンポジウムはサイエンスの持続的な発展の後援を目的としており、特定の製品の販売や広告宣伝を意図したものではありません。

申込方法

ウェブサイトをご覧ください、参加申し込みフォームからお申し込みください。

URL <http://takato-sympo.com/>



申込締切

2026年7月3日まで

*会場の都合上、現地参加人数には限りがございますため、**先着順**とさせていただきます。ただし、ポスター発表の方は優先とさせていただきます。結果は7月13日以降にメールでご案内予定です。先着枠を外れた方にはオンラインでの参加をご案内させていただきます。

備考

- オンラインではMicrosoft Teamsを使用します。
- Microsoft Teamsのアプリを持っていない場合でも参加できます。
ブラウザ経由でのアクセスが可能です。
- オンライン参加される場合、講演中はカメラとマイクをオフにしてください。
- ご参加の際には氏名とご所属を必ず明記してください。
- 現地参加される場合、交通費は各自ご負担願います。

スケジュール

1日目

- 13:00~13:05 開会のあいさつ
- 13:05~13:50 講演① 太田 訓正 先生
九州大学 基幹教育院 教授
『真核細胞誕生時におけるリボソームタンパク質の役割』
- 14:00~14:45 講演② 見學 美根子 先生
京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 教授
『脳皮質の発達を実現した動くニューロンの戦略』
- 14:55~15:40 講演③ 坂口 志文 先生
大阪大学 特別荣誉教授 / 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授
『制御性T細胞：その発見から新しい免疫医療に向けて』
- 16:00~17:00 フラッシュトーク
- 17:00~18:00 ポスター発表①
- 18:00~19:00 ポスター発表②
- 19:00~21:00 夕食

2日目

- 9:00~9:45 講演① 中島 敬二 先生
奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授
『根の自在な成長を支える分子と細胞のダイナミクス』
- 9:55~10:40 講演② 野田 展生 先生
北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授
『ATG因子群が駆動するオートファゴソーム形成の分子機構』
- 10:50~11:35 講演③ 丹羽 隆介 先生
筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 教授
『液性因子による動物の発生と生理の制御：シヨウジョウバエと寄生蜂の研究から』
- 11:40~11:50 高遠桜雲賞発表
- 11:55~12:00 閉会のあいさつ

お問い合わせ

(株) 医学生物学研究所内 高遠シンポジウム事務局 E-mail : takato@mbi.co.jp